

学校教育目標

誇りを持ち夢に挑戦できる生徒の育成
～『志』高く、多様性を理解した心豊かな人づくり～

教育活動の礎

「自主・協同・奉仕・明朗・遵法」を礎とし、「気づき・考え・行動する『若木の精神』」を柱とした教育活動を推進します。

努力目標

(1) 確かな学力の育成

学習と行事を両輪として、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、仲間との繋がりの中で、対話を通して思いや考えを伝え、深い学びへと導く授業を推進する。

(2) 豊かな心の育成

互いの個性を認め合い、自己有用感の自覚を促し、命を大切に思う心、思いやりの心を育むことで、差別やいじめ・暴力を許さない、自浄作用をもったあたたかい集団づくりに努める。

(3) 健やかな体の育成

教育活動を通じて、元気な体づくりと体力の向上を目指すとともに、SC、SSW、医療専門機関と連携し、生徒の心身の健全な成長と保全に取り組む。

(4) 自主自律の精神の育成

自由と責任を正しく理解することを柱として、規範意識の醸成に努め、自らの生き方や進路に対し、夢をもって主体的に考えるキャリア教育の充実に取り組む。

(5) 特別支援教育の充実

個々の生徒の状況に応じた指導内容・指導方法を工夫し、計画的・組織的な教育に取り組み、自立して社会参画ができるようキャリア発達の視点を踏まえた指導の充実を図る。

(6) 地域に信頼される、魅力ある学校づくり

学校運営協議会、保護者や地域住民との連携を図りながら、安心・安全な生活環境や学習環境の整備に努め、生徒の健やかな成長と活力ある学校づくりを目指す。